

立命館経済学

第二卷
目次

(昭和二十八年)

立命館経済学 第二卷 総目次 (昭和二十八年)

論 説

資本論冒頭文節の体系的意味……………	梯 明 秀……………一(一)……………頁(一)
郷土産業考察の一例(下)……………	淡 川 康 一……………頁(完)……………頁(五)
社会階級性について……………	阿 部 矢 二……………一(三三)……………頁(五)
——学生諸君——	
事業課税の外形と本質……………	箕 浦 格 良……………頁(四)……………頁(八九)
スウィーージー恐慌論の批判……………	松 田 弘 三……………頁(九〇)……………頁(二八)
我国近世の経済思想(上)……………	淡 川 康 一……………一(二五)……………頁(二七)
——大山教授の近著を中心として——	
危機に立つ反独占政策……………	井 上 巖 次 郎……………一(六二)……………頁(九二)
わが国労働関係の特質(一)……………	大 山 敷 太 郎……………三(三九)……………頁(四三)
ルネサンス・レフォルマチオン期における所有観(上)……………	高 橋 良 三……………頁(四三)……………頁(四六)
諸商品集成の感的直観(その一)……………	梯 明 秀……………一(五三)……………頁(五五)
——「資本論冒頭文節の体系的意味」の第三章として——	
利潤と人民の生活との対抗関係……………	阿 部 矢 二……………三(五五)……………頁(五九)

我国近世の経済思想(下).....淡川康一...一五〇(一五〇).....三(一五九)

——大山教授の近著を中心として——

諸商品集成の感性的直観(その二).....梯明秀...六(一七〇).....五(一七〇)

——併せて遊部、宇野、向坂の諸氏の所説についで——

会計学上に所謂發生主義と実現主義に関する若干の考察.....津ノ国長四郎...六(一六四).....七(一六九)

時論

最近の中小企業立法.....井上巖次郎...一(一六四).....二(一六五)

研究

近世山城における在郷商人の商業経営について.....足立政男...一(一八三).....二(二二)

——乙訓郡神足村絞油商「油尾弥兵衛」についで——

O・H・Taylorのシムムバーター学説における

「帝国主義論」「社会階級論」の位置づけについて.....浜崎正規...一(二二二).....二(二二)

連関財に関する一考察(一).....山田邦臣...二(一八九).....三(一四)

封建体制崩壊に関する一考察.....足立政男...三(一七〇).....五(三二)

——畿内在郷商人の存在形態を中心に——

棚卸資産評価について.....寺島平...三(三三).....五(三三)

——現行税法をめぐって——

税務会計上の一考察.....高尾忠男...三(三四).....五(三四)

——ディダクシオンを中心として——

利子生み資本の変容……………小 牧 聖 徳…四…三(四六三)…三(四七二)

——近代的銀行業の成立をめぐる——

「企業者」と資本主義過程の「革新」について……………浜 崎 正 規…四…三(四七三)…三三(五〇二)

——シユムペーター学説の主要問題——

ヒックスにおける代替補完概念の吟味……………山 田 邦 臣…五…三(五九五)…四(六二〇)

——連関財に関する一考察(二)——

米国の綿花生産とその処理策……………森 川 信…六…三(七〇〇)…三〇(七三三)

内部索制組織の弱点について……………高 尾 忠 男…六…三(七三三)…三九(七三九)

講 座

任意標本調査法(二)……………関 弥 三 郎…一…五(五二)…三二(八二)

税務会計における貸倒準備金の繰入処理……………高 尾 忠 男…二…四(四三)…二〇(四〇)

任意標本調査法(三)……………関 弥 三 郎…三…九(四九)…二五(五七)

任意標本調査法(四)……………関 弥 三 郎…四…一三(五〇)…二四(五三)

剰余価値説の成立過程(二)……………松 田 弘 三…五…三(六七)…二九(六四)

任意標本調査法(五)……………関 弥 三 郎…六…三(七三)…二九(七五)

剰余価値説の成立過程(一)……………松 田 弘 三…六…一〇(七五)…二〇(七六)

紹 介

T・E・ミード・「国際収支論」……………村瀬武三郎…二二（四九）…二六（五〇）

——国際経済政策理論第一卷——

C・S・ソロー・「資本主義過程における革新」……………浜崎正規…二六（五〇）…三三（五七）

——シュムペーター理論の批判——